



島人ぬ宝

本調子

上	○	合	○	四	○	合	○	四	○	合	○								
五	○	七	○	七	○	合	○	五	○	工	中	上	○	上	中				
工	○	中	六	七	○	尺	中	工	○	中	六	工	○	中	六				

## 島人ぬ宝

本調子

一、僕が生まれた この島の空を  
僕はどれくらい知ってるんだろう  
輝く星も 流れる雲も  
名前を聞かれてもわからない  
でも誰より 誰よりも知っている  
悲しい時も 嬉しい時も  
何度も見上げていた この空を  
イヤサーサー  
教科書に書いてある事だけじゃわか  
らない  
大切なものがきつとここにあるはず  
さ  
それが島人ぬ宝  
イヤサーサー

二、僕が生れた この島の海を  
僕はどれくらい知ってるんだろう  
汚れてくサンゴも 減ってゆく魚も  
どうしたらいいのかわからない  
でも誰より 誰よりも知っている  
砂にまみれて 波にゆられて  
少しづつ変わってゆく この海を  
イヤサーサー  
テレビでは映せない  
ラジオでも流せない  
大切なものがきつと  
ここに  
ここに  
ここに  
それが島人ぬ宝  
イヤサーサー

三、僕が生まれた この島の唄を  
僕はどれくらい知ってるんだろう  
トウバラーマも デンサー節も  
言葉の意味さえわからない  
でも誰より 誰よりも知っている  
祝いの夜も 祭りの朝も  
何処からか聞こえてくる この唄を  
イヤサーサー  
いつの日かこの島を  
離れてくその日まで